



東北防衛局広報紙  
(東北6県の防衛に関する情報紙)

# 東北の **かなめ**

vol. 14  
2011.1.27.

特集：日米交流フェスタ in MISAWA 2010

沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練実施！！

防衛問題セミナー開催

新防衛大綱等を県知事へ説明

イベントギャラリー

広報館ウォッチング

インフォメーション



防衛省東北防衛局広報編集委員会編集発行  
宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15  
TEL 022-297-8208  
ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

特集：

日米交流フェスタ in MISAWA 2010

どんぶりコンテスト



種市三沢市長



ラストーン米空軍  
第35戦闘航空団司令官



11月27日、東北防衛局は、日米交流事業「三沢どんぶりコンテスト」を青森県三沢市公会堂で開催しました。

日米交流事業は、在日米軍人・その家族等と周辺住民との相互理解を深めることを目的に開催されたもので、今年で3回目となります。この日は、米側9名、日本側14名が参加して日米混合の5チームが地元の食材を活用した創作どんぶりを発表し、各チームの自信作を増田東北防衛局長、種市三沢市長、ラストーン米空軍三沢基地司令官、ハウガン米海軍三沢航空基地隊司令らに一般の来場者を加えた12名が審査員となり試食し、投票でグランプリと準グランプリを選出しました。グランプリとなったチーム「ハーシーズ」の豚バラどんぶりは、三沢産の紫黒米をブレンドした炊き込みご飯の上に塩味の利いた豚バラやレタスなどをトッピングしたどんぶり、審査員から「こ、これは美味い！」との声も上がるほどの秀逸な作品でした。コンテスト終了後には、用意した試食用どんぶり600食が30分ほどで完食するなど、日米の来場者約300人が、それぞれ審査員気分でごどんぶりをほおぼっていました。また、地方活性化アイドル「リンゴ娘」もステージショーを行うなどイベントに花を添えました。

ファイナルステージ  
2010.11.27



作品発表会  
2010.11.14



合同試作会  
2010.10.23 及び 11.7



準グランプリ



グランプリ

どんちゃん丼ぶり



地元の新鮮な野菜にこだわったヘルシーなどんぶり。

「ヴィーガン丼」



チーム 龍馬!!



地元の食材を使い、天ぷらにアメリカンなソースを合わせたどんぶり。  
「かき揚げ丼 アメリカン風味」



ハーシーズ



三沢産の紫黒米を使って作った簡単で心温まるどんぶり。

「豚バラどんぶり」



チーム ダイナマイト



3人の女の子を中心に構成し、斬新なレシピで、みんなを驚かせる味。

「三沢☆塩豚丼」



堀中 ママ・ミア!



え?これがどんぶり?食べたらず慢できる味。

「みさわチリーボール」



優勝チームレシピ

● 材料 (5人分)

白米 450g, 紫黒米 22g, ゴボウ 500g, 人参 150g, 水 520cc, 醤油大さじ 1, 味醂大さじ 1, 豚バラ 400g, 玉ねぎ 50g, 長ネギ 250g, 焼肉のたれ 260cc, レタス適量, 紅ショウガ適量, パプリカ少量, ドレッシング適量, 食べるラー油少量, サラダ油少量

● 作り方

- 1) 白米と紫黒米を研ぎ水を切っておく
- 2) ゴボウを笹がきにし、水にさらす
- 3) 人参も笹がきにする
- 4) 炊飯器に1.2.3と水、醤油、味醂を入れ炊く
- 5) レタスを水にさらし、パプリカは薄くスライスしておく
- 6) フライパンに油を入れ、豚バラ、玉ねぎ、長ネギを炒め、焼肉のたれで味付けをする
- 7) レタスを一口大に切り、パプリカと一緒にドレッシングで混ぜる
- 8) どんぶりに炊き上がったご飯をよそい、6のをせ、端に7のをせ、中央に紅ショウガのをせ、ラー油を少量かけて出来上がり

参加者・来場者からのコメント

○ 参加者

- ・英語を話すことはあまりできないので結構疲れました。でも、こういう機会はあまりないので貴重な経験ができました。ありがとうございます。(日本)
- ・多くの友人を作ることができた。今後、三沢でもっと多くの友人ができるのが楽しみだ。(米)

○ 来場者

- ・とても良い企画なので、毎年同じ企画を継続させてやって欲しい。(日本)
- ・日本人とアメリカ人が集うイベントの開催に感謝。今後も注目してみたい。(米)
- ・エクセレント! (素晴らしい) (米)

※ 各チームのレシピは、東北防衛局のホームページ (<http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>) で公開予定です。

# 越え実弾射撃移転訓練実施!!

## 王城寺原演習場で4年ぶり



訓練公開

フリーフィンク (概況説明)  
11月19日 (金)

本隊第1陣到着  
11月17日 (水)

現地連絡本部開所式  
11月15日 (月)



### 勤務状況

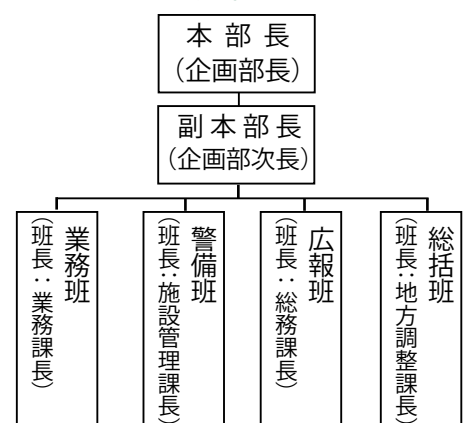
(調整会議)



(総括班)



### 現地連絡本部組織図



# 沖縄県道 104号線



訓練公開  
11月24日(水)

平成22年11月22日から12月1日までの10日間、陸上自衛隊王城寺原演習場(宮城県加美郡色麻町、黒川郡大和町、大衡村)において、在沖米海兵隊の155ミリ榴弾砲等による実弾射撃移転訓練が平成18年以来4年ぶりに実施されました。

今回で9回目となる同訓練は、第3海兵師団第12海兵連隊第3大隊1個砲兵中隊の約240名が参加して行われました。

東北防衛局は、米海兵隊が到着した11月15日から帰沖した12月9日までの間、同演習場内に現地連絡本部を設置して、局職員が交替で常駐し、24時間体制で訓練の円滑な実施及び地元自治体等への情報提供等の支援を行いました。

訓練期間中、弾着区域内で訓練による野火が発生したものの米海兵隊は訓練目標を達成することができ、訓練終了後には奉仕活動等を行い、滞在期間としてはこれまでで最短の25日で無事終了しました。

## 奉仕活動 12月6日(月)

海兵隊員が、12月6日、知的障害者入所更生施設「あさいな学園」(大和町所在)及び特別養護老人ホーム「七峰荘」(大衡村所在)を訪れ、花壇への花植えや床・窓清掃などを行うとともに、入所者と一緒に歌を歌ったり、ボールや椅子を使ったゲームでは真剣に勝負するなど、和気あいあいと交流を図りました。



「あさいな学園」

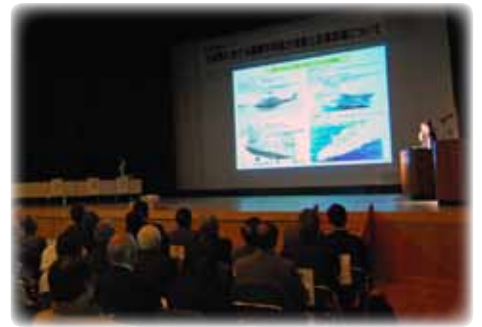


「七峰荘」

# 防衛問題セミナー開催

## 「自衛隊における国際平和協力活動と災害派遣活動」

12月14日東北防衛局は、岩手県岩手郡滝沢村で防衛問題セミナーを開催しました。



今年度2回目となるこのセミナーでは、主催者である増田東北防衛局長の挨拶、開催地である滝沢村の柳村村長の来賓挨拶に続き、防衛省運用企画局国際協力課齋藤課長から、自衛隊による国際平和協力活動の法的枠組みや現地活動の状況等について、また、陸上自衛隊岩手駐屯地司令小林1佐から災害時の初動態勢、岩手宮城内陸地震の際の自衛隊の活動状況等について写真などを使用し分かりやすく説明しました。

会場となった滝沢ふるさと交流館には寒さの増す中約160人が聴講に訪れ、講師からの説明を熱心に聞き入っていました。説明後には「PKO活動が増加している現状において、陸自1000人削減との話がある中、定員との関係はどうなっているのか」、「有事の際、国内の人員は検討されていると思うが、今の国際状況の観点からすると大変なのではないか」など、かなりハイレベルな質問が相次ぎました。

今回は、2月14日（月）に宮城県仙台市で新たな防衛計画の大綱に関するセミナーの開催を予定しておりますので、多数のご来場をお待ちしております。（関連P8）



増田東北防衛局長



柳村滝沢村長



齋藤国際協力課長



小林岩手駐屯地司令

## 新防衛大綱等を県知事へ説明

### ～各知事と意見交換～

増田東北防衛局長は1月6日から14日にかけて、昨年12月に閣議決定された「新たな防衛計画の大綱」及び「新たな中期防衛力整備計画」について、達増岩手県知事、三村青森県知事、佐竹秋田県知事、吉村山形県知事にそれぞれ説明を行いました。

増田局長から、今後の我が国の安全保障及び防衛力の在り方について新たな指針となる防衛大綱等の概要を説明したのに対し、各県知事からは、南西地域における島嶼部対応能力の強化に伴う地元部隊への影響や主要装備・基幹部隊の増減に関する質問がなされるなど、「新たな防衛計画の大綱」等について有意義な意見交換を行いました。



達増岩手県知事



三村青森県知事



佐竹秋田県知事



吉村山形県知事



## イベントギャラリー



松島基地ブルーインパルス初飛行  
1/6 (木) 宮城県東松島市



東北方面航空隊  
ヘリ初飛行  
1/11 (火)  
宮城県仙台市



大湊航空基地第25航空隊  
ヘリ初飛行 1/5 (水)  
青森県むつ市



霞目駐屯地  
新春たこあげ大会 1/15 (土)  
宮城県仙台市

## 広報館 ウォッチング

宮城県仙台市の陸上自衛隊仙台駐屯地内には「防衛館」があり、その敷地内に自由に乘って触れる戦車2両などが展示されています。

防衛館の中には、旧軍時代から現在の国際貢献活動などのほか伊達家の沿革などの郷土史コーナーもあり、常時1000点にもものぼる資料が展示されています。

また、昨年秋には殉職された隊員の功績をたたえる東北方面隊顕彰室が新たに設置されています。



## 「仙台駐屯地 防衛館」



開館時間：午前9時～午後4時  
休館日：土日・祝日、年末年始  
入館料：無料  
問合せ先：〒983-8580  
宮城県仙台市宮城野区南目館1-1  
仙台駐屯地広報  
TEL 022 (231) 1111 内線3861

## - INFORMATION -

## 防衛問題セミナー開催のお知らせ

2月14日(月) 18時から宮城県仙台市(メルパルク仙台)において、新たな防衛計画の大綱(以下「新防衛大綱」という。)に係る防衛問題セミナーの開催(入場無料)を予定しています。

新防衛大綱は、わが国を取り巻く安全保障環境の下、今後のわが国の安全保障及び防衛力の在り方について、新たな指針となるものです。

当セミナーでは、「北朝鮮の核・ミサイル問題や中国の軍事力の近代化など複雑な安全保障課題に対しどのように対応するのか。」また、「PKOや海賊対処など国際貢献にどのように取り組んでいくのか。」など新防衛大綱の着眼点を分かりやすく解説するとともに、防衛省・自衛隊の職員、民間有識者によるパネルディスカッションを開き、様々な角度から防衛省・自衛隊の将来などについて議論することとしております。

日本の平和と安全・国民の安心と安全などについて防衛省・自衛隊と一緒に考えてみませんか！

多くの方々のご来場をお待ちしております。

防衛問題セミナー

**「日本の安全保障」について考えてみませんか**

第1部：講話 ～新たな防衛計画の大綱～  
第2部：パネルディスカッション ～新「防衛大綱」の国際貢献と自衛隊の将来～

講演者：(写真あり) 防衛省・自衛隊の職員、民間有識者

**新たな「防衛計画の大綱」が決まりました**

開催日：平成23年2月14日(月) 18:00～20:00頃  
場 所：メルパルク仙台  
仙台市宮城野区権五5-6-51  
アクセス：JR仙台緑地駅より徒歩3分  
事前の申し込みは必要ありません。  
(定員：500名)  
主催：東北防衛局 共催：自衛隊宮城地方協力本部

お問い合わせ先：  
防衛省東北防衛局 企画課 防衛広報課  
宮城県仙台市宮城野区権五1-3-15  
TEL:022-297-8212

東北防衛局HPに掲載中

<http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>



## 東北の自衛隊広報行事

自衛隊(東北管内)が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
2月	2月26日(土)	第6師団音楽まつり	天童市民文化会館	第6師団司令部広報室 0237-48-1151
3月	3月5日(土)	第9師団定期演奏会	青森市文化会館	第9師団司令部広報室 017-781-0161
	3月12日(土)	第47回東北方面音楽隊定期演奏会	東京エレクトロンホール宮城	東北方面総監部広報室 022-231-1111
	3月12日(土)	第28回自衛隊郡山音楽祭	郡山市文化センター	郡山駐屯地広報室 024-951-0225
	3月20日(日)	岩手駐屯地音楽隊第26回定期演奏会	盛岡市民文化センター	岩手駐屯地司令業務室 019-688-4311

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

※ 表紙の写真は、日本(青森県三沢市)からアメリカ(ワシントン州ウェナッチ地区)までの太平洋無着陸飛行に初めて成功した飛行機、ミス・ビードル号の復元機です。現在、青森県立三沢航空科学館で一般展示されており、今年はフライトも計画されています。

